# 幼稚園における壁面構成の歴史
## ―大分県Ｋ幼稚園の写真からの考察―

History of the wall displays in kindergarten
—Consideration from the photograph of the Oita K kindergarten—

福田　篤子[1]，柴崎　正行[2]
[1]大妻女子大学大学院人間文化研究科，[2]大妻女子大学家政学部

Atsuko Fukuda[1] and Masayuki Shibazaki[2]
[1]Graduate School of Studies in Human Culture, Otsuma Women's University
12 Sanban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 102-8357
[2]Faculty of Home Economics, Otsuma Women's University
12 Sanban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 102-8357

キーワード：壁面構成，幼稚園，歴史
Key words：Wall displays, Kindergarten, History

抄録

現在の幼稚園では年度の変わり目や，月の変わり目の仕事として保育室内の「壁面構成」を新しくしている．しかし，日本における幼稚園設立期は保育室の壁をどのように使用していたか，現在作られているような「壁面構成」がいつ頃から作られるようになったのか等壁面構成について明らかになっていないことが多い．よって本研究では明治 20 年に設立され現在までの日誌や資料を保存している大分県の K 幼稚園の資料をもとに壁面構成の変遷を明示していくことを目的とした．対象とした K 幼稚園からの資料もとに分析を進めると，子どもの作品の扱われ方や，保育室の壁に掲示されているものの内容の変化が見てとれた．そしてその期，その期によって保育者が大事にしようとしている工夫や保育観が見て取れた．

## １．調査の背景・目的

現在の幼稚園では年度の変わり目や，月の変わり目の仕事として保育室内の「壁面構成」を新しくしている．「壁面構成」とは園舎内の保育室や遊戯室，廊下などの壁面を造形作品やさまざまな素材で構成する事[1]で「壁面構成」は①先生が作る②先生と子どもが作る③子どもが作る[2]とある．

しかし，現在「壁面構成」の歴史についての先行研究は，明治期（鈴木 1997）[3]，大正期（鈴木 1998）[4]と限定した期間の研究しかなされていない．そのため現在作られているような「壁面構成」がいつ頃から作られるようになったのか，日本における幼稚園設立期は保育室の壁をどのように使用していたか等，壁面構成について変遷全体的に研究した論文はない．よって本研究ではある 1 園の資料をもとに明治から現在に至る壁面構成の変遷を明示していくことを目的とする．

## ２．調査方法

2.1.　調査施設および対象

調査施設：大分県 K 幼稚園（選定の理由は設立以来の写真が保存されている園とした）

対象期間：明治 20 年～平成 26 年

2.2.　調査期間および調査方法

調査日：平成 26 年 2 月 13 日

調査方法：園で保存されている写真や園の記録等が記載されている資料を収集する．

2.3.　調査内容

1）　園で保存されている写真より「壁面構成」の対象となる写真を選定する．

2） 園の記録が記載されている資料から園の概要を入手する．

2.4.　分析方法
1） 写真から掲示物・掲示場所・掲示方法と内容・素材・作製者・作製方法を読み取る
2） 園の記録と写真を照らし合わせ，年代や出来ごとを読み取る．
3） 時代区分（時代区分は法令に示された保育内容の基準をもとに 5 つに区分した）
Ⅰ期：（教育令改正）
明治 13 年～明治 31 年
Ⅱ期：（幼稚園保育及び設備規定制定）
明治 32 年から大正 14 年
Ⅲ期：（幼稚園令・幼稚園令施行規則制定）
大正 15 年～昭和 22 年
Ⅳ期：（保育要領刊行）
昭和 23 年～昭和 63 年
Ⅴ期：（幼稚園教育要領大幅改訂）
平成元年～現在

## 3． 結果
1） K 幼稚園の園の概要
図 1　K 幼稚園年表

| K 幼稚園　園の経緯 | |
|---|---|
| 明治２０年<br>１月８日 | 私設の幼稚園を養徳寺に創設<br>※小学校の附属で開園<br>４歳，５歳　２年保育<br>１２０名くらい |
| 明治２８年 | 公費が入る |
| 明治３０年１０月 | 市立にするために申請 |
| 明治３４年 | 認可される<br>２名の保育者　７０名の幼児 |
| 明治４１年４月 | 本堂に移す |
| 明治４２年３月 | 新校舎に幼稚園を戻す<br>※回遊室，遊戯室等の表記あり |
| 大正１１年 | 小学校から独立して現在の位置 |

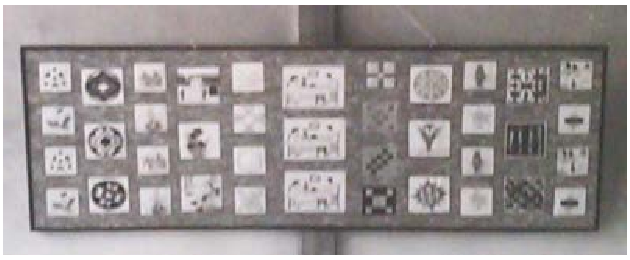
2） Ⅰ期，Ⅱ期：資料としての園日誌は残存していたが，そこには卒園写真のみであり，研究対象とする保育室や壁面の写真は残っていなかった．

3） Ⅲ期：この期になると保育の写真がわずかではあるが残存しており，それらを分析すると以下のようになる．

資料 1　ひな祭りの写真

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 調査日 | 入手日 2014 年 2 月 13 日<br>分析日 2014 年 2 月 21 日<br>検討日 2014 年 2 月 26 日<br>修正日／2014 年 3 月 3 日 |
| 資料 NO | 1 |
| 撮影年月日 | 大正 15 年　3 月 19 日 |
| 掲示物 | お雛様飾り |
| 掲示場所 | 遊戯室（園児の人数が約 100 名であることから，全園児が参加していると思われる．よって保育室ではなく遊戯室ではないか） |

資料 1 －①資料 1 のお雛様の上にある壁面を拡大



| 資料の分析 | |
|---|---|
| 資料 NO | 1 －① |
| 掲示物 | お雛様背景飾り |
| 掲示場所 | 室内の壁（高い位置） |
| 掲示方法・内容 | 第 13 恩物の剪紙法と第 18 恩物の摺紙法の作品が掲示されている． |
| 素材 | 紙，額 |
| 作成者 | 合計 39 枚ある．これはほぼ 1 クラ |

| | |
|---|---|
| | スの人数であることから，幼児の作品であろう． |
| 作成方法 | たたみ紙と切り紙 |
| 読み取れること | ひな壇のちょうど後ろに掲示されている．ひな壇に対して上下，左右ともバランスがよく飾ってあることから，ひな壇の背景に掲示していたのだろう． |

資料１－②資料１のお雛様の上にある旗を拡大

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 資料 NO | 1 - ② |
| 掲示物 | 国旗と飾り旗，千羽鶴らしきもの |
| 掲示場所 | 室内（天井から窓） |
| 掲示方法・内容 | 天井から窓に紐を渡し，国旗と染め紙の飾り旗を交互につるしている．そして，中央には天井から千羽鶴のような飾りがぶら下がっている． |
| 素材 | 和紙（染めに滲みがみられることより和紙が妥当と思われる） |
| 作成者 | 既製品と幼児 |
| 作成方法 | 既製品の国旗と染め紙だろう<br>中心は千羽鶴らしき飾り |
| 読み取れること | お祝いのときには，国旗等で天井から装飾をする． |

資料１－③　１－④資料１のお雛様の両脇を拡大

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 資料 NO | 1 - ③　1－④ |
| 掲示物 | ③写真（幼児が写っている）と花飾り<br>④写真（幼児が写っている）とリボン飾り |
| 掲示場所 | 室内 |
| 掲示方法・内容 | 写真が額縁に入れてある．<br>③の下には花瓶が掛けられ花が３本入っている．<br>④の下には蝶々結びしたリボンが3個縦に並んで飾られている． |
| 素材 | 写真，額，花，リボン |
| 作成者 | 写真の掲示は保育者であろう．花と蝶々結びは不明． |
| 作成方法 | 写真撮影，花を生ける，リボンを蝶々結びにする． |
| 読み取れること | 雛段を中心に左右対称に写真が掲示してある． |

資料１－⑤　１－⑥資料１のお雛様の両脇を拡大

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 資料 NO | １－⑤　１－⑥ |
| 掲示物 | ⑤船の絵　④海岸の絵（船や木や不明な物） |
| 掲示場所 | 室内 |
| 掲示方法・内容 | 額などには入れず，掲示してある． |
| 素材 | 紙 |
| 作成者 | ⑤⑥既製品であろう |
| 作成方法 | ⑤⑥既製品 |
| 読み取れること | ひな壇を中心として，左右とも写真の外側に飾ってある． |

| 全体のまとめ |
|---|
| 作品掲示，写真，絵の順で飾ってあることとなる．一番目立つところに，幼児の作品を飾り，その外側に，幼児の写真，中心から一番遠い所へ子どもと関係のない絵が来ている． |

4）　Ⅳ期　資料２作品展示

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 調査日 | 入手日 2014 年 2 月 13 日<br>分析日 2014 年 2 月 27 日 |
| 資料 NO | ２ |
| 撮影年月日 | 昭和 29 年 |
| 掲示物 | 作品展示（バザーと同時開催） |
| 掲示場所 | 保育室 |
| 掲示方法・内容 | 額などには入れず，子どもの作品をつなげてぶら下げている． |
| 素材 | 紙 |
| 作成者 | 幼児 |
| 作成方法 | 絵の具等で描いている |
| 読み取れること | 子どもの絵は 7 枚を 1 列にして全部で 6 列になっている．これでクラスの人数分（42 名）の絵を一度に観ることができるように展示していたことが分かる． |

資料３集合写真の後ろの壁面
車の中に描かれた絵がしりとりになっている

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 調査日 | 入手日 2014 年 2 月 13 日<br>分析日 2014 年 2 月 27 日 |
| 資料 NO | ３ |
| 撮影年月日 | 昭和５０年 |
| 掲示物 | しりとり |
| 掲示場所 | 遊戯室 |
| 掲示方法・内容 | 壁に直接，車の形の画用紙を貼り付けている．内容はりす，すずめ，めがね，ねこ，と「しりとり」になっている． |
| 素材 | 画用紙 |
| 作成者 | 保育者 |
| 作成方法 | 車の形の画用紙に対象の絵を書いて貼っている． |
| 読み取れること | だた，装飾として楽しくするだけでなく，教育的要素を入れている． |

5）　Ⅴ期　資料４掲示板の壁面

| 資料の分析 | |
|---|---|
| 調査日 | 入手日 2014 年 2 月 13 日<br>分析日 2014 年 2 月 27 日 |
| 資料 NO | ４ |
| 撮影年月日 | 現物を撮影 |
| 掲示物 | 今月の行事予定 |
| 掲示場所 | 園舎入口掲示板 |
| 掲示方法・内容 | カルタ取りをしているネズミ，ウサギ，クマが画用紙で表現されている．カルタに行事が書いてある． |
| 素材 | 画用紙 |
| 作成者 | 保育者 |
| 作成方法 | 画用紙をそれぞれの形に切って貼っている． |

| 読み取れること | カルタに行事を書き，季節感と情報掲示の機能を一緒に表現している． |
|---|---|

## ４．まとめと今後の予定

今回の調査で対象となる写真を 4 枚入手できた．Ⅰ期，Ⅱ期は手に入らなかったが，Ⅲ期，Ⅳ期，Ⅴ期は入手できた．Ⅲ期：大正 15 年〜昭和 22 年は，恩物中心の保育を脱して幼児の生活や遊び中心とした新しい試みが行われた時代である[5]．しかし，資料１―①の写真からは 第 13 恩物の剪紙法と第 18 恩物の摺紙法の作品があることで 恩物による保育がまた継続されていたことが分かる．そして，子どもの作品を額に入れて壁に掲示していることも分かった．その他，資料１―③ １―④のように写真も額に入れ壁に掲示されている．このころは写真と同じように，子どもの作品を額に入れ掲示していたことが分かる．壁に直接作品を貼るという行為は行っていなかった．額に入れて飾るという行為の背景には，作品を大切に扱おうとする保育者の配慮が感じられる．また，中心から子どもの作品，子どもの写真，その他絵画とはることで，中心に子どもの作品を目立つように位置づけていることは注目すべき点である．また，子どもの作品に関しては，格好よく作りたる物品あらば之を貯へ置き模とすべし[6]．と記述があることから，装飾として飾るだけでなく，手本として保存していたとも想像ができる．次に資料１―③ １―④の花瓶に活けられた生花もこのころによく見られた装飾方法の一つである．

Ⅳ期，昭和 23 年に保育要領が刊行され，６幼児の保育内容，７絵画の章に鑑賞について，自分の描いた絵だけでなく，他の幼児の絵を見せて絵について話あう[7]と記述された．このような背景もあり，自由画を掲示して鑑賞する動きが活発になっていく．そして資料２―①のように額から外れさらに黒板や掲示板の外の壁に子どもの作品がつり下げられるようになってくる．保育要領では額に入れるものは，絵の中でも芸術的に価値の高いものを選んで掲示し鑑賞させる[7]とあり，額入りには別の意味が込められていったと考えられる．この写真はバザーと一緒に開催される展示会のものであり，親と子どもが一緒に鑑賞し絵画への興味や意欲を高めたと思われる．資料２―②になると，現在の「壁面構成」により近くなってくる．しかし，この内容はしりとりであり，装飾より教育的要素を感じる．調度，昭和 52 年「幼児と保育」1 月号に数指導のための環境設定[8]という内容があり，考える力を育てるために壁面を利用する方法が記載されている．生活や遊び，環境の中から子どもへ教育的内容を伝えていこうという工夫が感じられる．

Ⅴ期平成元年〜現在になり現在の「壁面構成」になってきている．資料３は掲示版の機能を果たしていることもあり，装飾だけでなく，装飾の要素と行事内容を伝えるという掲示要素を組み合わせて作られている．文字だけでなく，装飾の要素を組み合わせているところに幼稚園らしさを感じ保育者の工夫が見られる．

以上のように枚数は少なかったが，Ⅲ期：大正 15 年〜昭和 22 年，Ⅳ期：昭和 23 年〜昭和 63 年，Ⅴ期平成元年〜現在の写真を通じて，保育室の壁に掲示されているものがどのように変化してきたかが分析できた．また，現在の「壁面構成」に近いものがでてくる時期が見えてきた．今回は設立期から大正初期までの写真は確認することができなかったので，今後別の園で調査分析をしていきたい．

## 謝辞

本調査の実施にあたり，発表会前というお忙しい時期にも関わらず資料の提供と情報の提供にご協力頂きました K 幼稚園の先生方に深く感謝申し上げます．

## 付記

本研究は大妻女子大学人間文化研究所「共同研究プロジェクト」（D030）の助成を受けたものである．

## 引用文献

[1]森上史朗，柏女霊峰編『保育用語辞典第 6 版』ミネルヴァ書房, 2011, P152‐153.
[2]阿部直美，高橋系吾著ほか『たのしい壁面構成 12 か月別冊幼児と保育 MOOK』小学館, 1997, P111.
[3]鈴木法子『壁面構成とは何か１ ‐明治期の幼稚園における壁面構成の萌芽』日本保育学会大会研究論文集, 1997, 50, P474‐475.
[4]鈴木法子『壁面構成とは何か２ ‐大正期の「室内装飾」‐』日本保育学会大会研究論文集, 1998, 51, P114‐115.
[5]日本保育学会編『写真集　幼児保育百年の歩み』

ぎょうせい, 1981, P63.
[6]倉橋惣三, 新庄よし子著『日本幼稚園史』臨川書店, 1983, P192.
[7]文部省『幼稚園教育百年史』ひかりのくに, 1979, P560 - 561.
[8]『幼児と保育』小学館, 1977, P14 - P15.

**Abstract**

Many kindergartens renew their wall displays in the beginning of the new school year and some kindergartens monthly change them. However, it is not clear when such wall displays were started at kindergarten in Japan. This study analyses the diaries and other documents kept at “K” kindergarten in Oita prefecture from Meiji 20. The result indicates the change of the contents of displays including children’s art works. And it also suggests the change of teachers’ views and values.

（受付日：2014 年 5 月 22 日，受理日：2014 年 5 月 30 日）

**福田　篤子（ふくだ　あつこ）**
現職：大妻女子大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻２年在学中